

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.4
Q-1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 騒音		3.0	0.43	-	-	
1 1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		4.2	0.36	-	-	
1 開口部遮音性能	開口部はT-2同等とし、遮音性能を向上している。	5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.21	3.0	-	
2 温熱環境		3.2	0.35	-	-	3.2
2.1 室温制御		3.5	0.50	-	-	
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2 負荷変動・過渡制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
4 ゾーン別制御性	ゾーン別に冷暖房の制御が可能である。	4.0	0.50	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 湿度制御		-	-	-	-	
7 時間外空調		-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.1	0.25	-	-	3.1
3.1 昼光利用		3.0	0.32	-	-	
1 昼光率		3.0	0.54	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.46	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.27	-	-	
1 照度・明るさのグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		4.0	0.14	-	-	
1 照度	800lxを確保している。	4.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.27	3.0	-	
4 空気質環境		3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	使用する建材は(JIS、JAS規格のF☆☆☆☆)を使用する	4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.35	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.35	3.0	-	
4 給気計画		-	-	-	-	
4.3 運用管理		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	独立した喫煙室を設け、非喫煙者に配慮している。	5.0	0.50	-	-	
Q-2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.5
1 機能性		4.0	0.40	-	-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	-	-	
1 広さ・収納性	一人あたりの執務スペースを9㎡以上で想定している。	4.0	0.30	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		4.0	0.30	3.0	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の利用円滑化基準を満たしている。	4.0	0.40	-	-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	-	-	
1 広さ感・景観	天井高さ2700を確保している。	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-	
3 内装計画	内装計画の段階でベース等を用いてコンセプトを反映検証してい	5.0	0.33	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	
1 外壁仕上材の補修必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新		-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上材の更新		-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新		-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新		-	-	-	-	
2.4 信頼性		3.2	0.19	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	通信手段の多様化、引込みの2ルート化をはかっている。	4.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.3	0.29	-	-	3.3
	3.1 空間のゆとり		4.0	0.31	-	-	
	1 階高のゆとり	階高3.7mを確保している。	4.0	0.60	3.0	-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率が0.3未満である。	4.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.1	0.38	-	-	
	1 空調配管の更新性	構造部材を痛める事なく更新することができる。	3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		4.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観に配慮した形態・素材を採用している。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	開放されたピロティ・テラスを設け都市のアメニティ向上に貢献して	5.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
	2.1 自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム		3.0	0.67	-	-	
	2 雑排水利用システム		3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.3	0.85	-	-	3.3
	2.1 資源の再利用効率		3.6	0.37	-	-	
	1 躯体材料の再利用効率	木材・プラスチック再生複合材を外壁面に使用している。	4.0	0.67	-	-	
	2 非構造材料の再利用効率		3.0	0.33	-	-	
	2.2 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.3 有害物質を含まない材料	塗装・塗材床材においては対象物質を含有しない材料を使用する。	4.0	0.09	-	-	
	2.4 既存建築躯体などの再利用		3.0	0.18	-	-	
	2.5 部材の再利用可能性		3.0	0.18	-	-	
	2.6 フロン・ハロンの回避		3.3	0.18	-	-	
	1 消火剤	ハロン消化材を一切使用していない。	4.0	0.33	-	-	
	2 断熱材		3.0	0.33	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
	2.1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2.2 振動		3.0	0.33	-	-	
	2.3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
	3.1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	3.2 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制		光害対策ガイドラインの過半を満たし、広告塔の夜間照明もしてい	4.0	0.10	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.15	-	-	3.3
	6.1 雨水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
	6.2 汚水処理負荷抑制		-	-	-	-	
	6.3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪・駐車スペースを確保している。	4.0	0.33	-	-	
	6.4 廃棄物処理負荷		3.0	0.33	-	-	

■ LR-1 用途別点表		事務所	物販店	-	-	面積按分
		5222 m ²	543 m ²	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0	PAL値未入力	-	-	2.7
3	設備システムの	4.0	データ未入力	-	-	3.6
	高効率化	-	-	-	-	
3.1	空調設備	3.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	-	-	-	-	-
3.3	照明設備	4.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	-	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	5.0	-	-	-	-